

簡易評価型プロポーザル提案書評価要領
(長岡市学校施設長期保全・再生計画基本方針策定委託)

1 目的

この要領は、簡易評価型プロポーザル方式により委託事業者を決定する場合における提案書の評価方法について、必要な事項を定めることを目的とする。

2 事業者の選考

- (1) 提案書の評価及び事業者の選考は、選考委員会を設置して行う。
- (2) 選考委員会の委員は別に定め、教育委員会教育部教育施設課が庶務を行う。
- (3) 選考委員会は、提案書の提出者かつヒアリング参加者の中から、最も優秀で本市の要求にあった事業者 1 社を選考する。

3 選考方法

- (1) 提案書の記述が要件を満たしていない者は失格とする。
- (2) 提案書のヒアリングは、各事業者 2 人以内、準備・片付け各 5 分間、20 分間の持ち時間で提案書に基づいたプレゼンテーションを行い、質疑応答を 10 分間行う。
- (3) 提案書の記述項目及びプレゼンテーションの内容に関して、選考評価基準を基に各委員が採点する。
- (4) 各委員の評価点を平均して算出したもの(小数第 2 位を四捨五入)を事業者の評価点とし、評価点の最も高い事業者を最優秀者として決定する。
- (5) 評価点が同点となった場合は、各委員による無記名の選考投票で過半数を超えた事業者を最優秀者として決定する。

4 選考評価基準

評価項目		配点
1 業務体制について		25 点
提案者の業務内容、会社規模、業務に必要な有資格者など。		
同種・類似業務について、他団体で十分な実績があるか。特に、学校施設の同種・類似事業に関しての実績があるか。		
業務の実施に必要な体制になっているか。特に、学校施設の同種・類似事業に関しての実績のある担当者がメンバーに含まれているか。		
2 提案書の作り方、プレゼンテーションについて		25 点
提案書は見やすく、且つ説得力があるものになっているか。		
要領を得た、わかりやすい説明になっているか。質疑への応答は適切であるか。		
3 提案内容について		50 点
学校施設を取り巻く現状を理解し、老朽化の進んでいる学校施設の保全について優れた考えを有しているか。		
本業務の趣旨・目的を理解した提案となっているか。		
先進団体での事例などが活かされた効率的な取組方針やスケジュールとなっているか。		
各業務の取組方針について、独創的な手法の提案や着眼点はあるか。		
総合評価（得点の合計）		100 点